

# 目次

本書の読み方 .....	iv
カラー口絵 .....	xiii

## 第1章 発熱性疾患

1

1-1 発熱とは .....	3	1-6 感染症の治療法 .....	91
1-2 熱中症 .....	7	1 抗生物質 .....	91
1-3 解熱鎮痛薬 .....	10	a ペニシリン系 .....	91
1 非ステロイド性抗炎症薬 .....	10	b セフェム系 .....	92
2 アセトアミノフェン .....	11	c カルバペネム系 .....	92
1-4 乳児の発熱 .....	13	d モノバクタム系 .....	93
1 重症細菌感染症 .....	13	e アミノグリコシド系 .....	93
2 突発性発疹 .....	16	f マクロライド系 .....	93
1-5 季節性を示す子どもの感染症 .....	18	g ペプチド系 .....	93
1 季節でみる子どもの感染症 .....	18	h 合成抗生物質 .....	93
2 冬 期 .....	28	i その他 .....	94
a インフルエンザ .....	28	2 耐性菌 .....	94
b RS ウイルス感染症 .....	38	a メチシリン耐性黄色ブドウ球菌 .....	94
c 嘔吐下痢症 .....	40	b 多剤耐性緑膿菌 .....	94
3 春 期 .....	54	c ニューキノロン耐性黄色ブドウ球菌・ 緑膿菌 .....	94
a 麻疹 .....	54	d ESBL 産生 Gram 陰性桿菌 .....	94
b 風疹 .....	59	e ラクタマーゼ非産生 ABPC 耐性インフルエンザ菌 .....	94
c 溶血性レンサ球菌感染症 .....	61	f バンコマイシン耐性腸球菌 .....	94
d EB Epstein-Barr ウイルス感染症 .....	63	g ペニシリン耐性肺炎球菌 .....	96
e 水痘・带状疱疹 .....	69	3 抗ウイルス薬 .....	96
f 単純ヘルペスウイルス感染症 .....	71	a アシクロビル .....	96
g 流行性耳下腺炎 ムンプス .....	73	b ガンシクロビル .....	97
h 伝染性紅斑（リンゴ病） .....	74	c 抗インフルエンザ薬 .....	97
4 夏 期 .....	76	d 抗RSウイルス薬 .....	97
a コクサッキーウイルス・ エコー ECHO ウイルス感染症 .....	76	4 抗真菌薬 .....	97
b アデノウイルス感染症 .....	77	5 駆虫薬 .....	97
c 食中毒 .....	79	6 かぜ薬 .....	98
d 夏かぜ .....	88		

a 抗ヒスタミン薬 .....	98	1-9 発熱に伴うけいれん .....	127
b 鎮咳薬 .....	99	1 熱性けいれん .....	127
c 去痰薬 .....	99	2 けいれん重積 .....	130
1-7 感染症数理モデル .....	101	3 細菌性髄膜炎 .....	130
1 感染症の伝播力 .....	101	a 髄膜炎菌 .....	132
2 感染症の封じ込め .....	103	b ヘモフィルスインフルエンザ菌 .....	136
1-8 感染症対策 .....	105	4 脳膿瘍 .....	137
1 感染症新法 .....	105	5 無菌性髄膜炎 .....	139
a 新法制定の考え方 .....	105	6 急性脳炎・脳症 .....	140
b 学校保健法施行規則改定の概要 .....	108	a 脳炎・脳症 .....	140
2 ワクチン .....	110	b インフルエンザ関連脳症 .....	141
a ワクチンの考え方 .....	110	c Reye 症候群 .....	141
b ワクチン接種 .....	110	1-10 発熱を伴う慢性疾患 .....	144
c ワクチンの種類 .....	112	1 川崎病 .....	144
		2 若年性関節リウマチ .....	148

## 第 2 章 呼吸器疾患

155

2-1 呼吸器疾患の病態を理解するための基礎 .....	157	2 中耳炎：	
1 咳とは .....	157	かぜ症状に引き続き耳の痛みを訴えたら .....	172
2 呼吸器障害部位とその疾患 .....	158	3 クループ症候群：	
a 上気道疾患 .....	158	オットセイのような咳をし始めたら .....	175
b 下気道疾患 .....	164	a クループ症候群 .....	175
3 肺炎の病理 .....	165	b 喉頭蓋炎 .....	176
a 正常の肺胞 .....	165	4 喉頭軟化症：	
b 肺胞実質性肺炎の病理 .....	165	乳児期から吸気時にゼーと音がする .....	176
c 間質性肺炎の病理 .....	166	5 百日咳：	
4 小児肺炎のエックス線写真所見 .....	166	乳児が顔を真っ赤にして咳き込む .....	177
a 肺野全体の含気増加 .....	166	6 咽頭炎：	
b 無気肺 .....	166	のどの痛みを訴えたら .....	178
c 肺胞充満像 .....	166	7 扁桃腺炎（扁桃腺肥大）：	
d 肺斑状陰影 .....	167	のどが腫れてよく発熱する .....	183
e 腫瘤陰影 .....	167	a 扁桃腺摘出の基準 .....	183
f 胸水 .....	167	8 気管支異物：	
g 肺泡性肺炎と間質性肺炎 .....	167	食事中に急にむせ込む .....	185
2-2 各論：気道の上から順番に .....	169	9 気 胸：	
1 副鼻腔炎：		10代以上で急に胸が苦しくなった .....	187
緑色の鼻を垂らしていたら .....	169	10 細気管支炎：	
		冬に乳児で胸がゼーゼーいって呼吸が速い .....	187

11 喘息性気管支炎：	
乳幼児でかぜをきっかけに胸がゼロゼロいう	189
12 気管支喘息：	
小さい頃から胸がゼーゼーいいやすい	191
13 マイコプラズマ肺炎：	
比較的元気なわりに熱と咳が続いている	191

14 クラミジア肺炎	193
15 気管支肺炎：	
高い熱が3日以上続き、咳き込んで吐いてしまう	197
a 肺炎の種類	197
16 肺炎球菌性肺炎	199
17 結核	201

## 第3章 アレルギー

211

3-1 アレルギーとは	213
3-2 喘息	214
a 気管支拡張薬	218
b 副腎皮質ステロイド薬	219
c 抗アレルギー薬	222
3-3 アトピー性皮膚炎・じんま疹	230
1 アトピー性皮膚炎	230
2 じんま疹	234
3-4 食物アレルギー	236
3-5 薬物アレルギー	238
1 薬剤性肝障害	238
2 アナフィラキシー	239
a 即時型アレルギー反応	239
b 薬物による発熱	240

c じんま疹	241
d 輸血後の肺浮腫	241
3 遅発性薬物アレルギー反応	241
a 多形紅斑	241
b Stevens - Johnson 症候群・TEN	241
c 薬物による過敏性症候群	242
4 その他	242
a ヘパリンによる血小板減少症	242
b アセトアミノフェン投与の副作用	243
c 抗生物質投与による白血球減少	243
d 塩酸バンコマイシンによる red man 症候群	243
3-6 アレルギー性鼻炎	246
3-7 化学物質過敏症	247

## 第4章 消化器疾患

253

4-1 小児栄養学	255
1 母乳とは	255
2 ビタミンなどの欠乏症	259
a ビタミンA欠乏症	259
b ビタミンB <sub>1</sub> 欠乏症(脚気)	259
c ビタミンB <sub>2</sub> 欠乏症	259
d ビタミンB <sub>6</sub> 欠乏症	259
e ビタミンB <sub>12</sub> 欠乏症, 葉酸欠乏症	259
f ニコチン酸欠乏症(ペラグラ)	259
g ビタミンC欠乏症(壊血病)	259
h ビタミンD欠乏症(くる病)	261

i ビタミンD不応型くる病	262
j ビタミンE欠乏症	262
k ビタミンK欠乏症	262
l ヨード欠乏症	262
m 亜鉛欠乏症	262
n 銅欠乏症	262
4-2 各論：発生しやすい月齢順に	265
1 幽門狭窄症：	
生後2～3週で噴水状に嘔吐する	265
2 先天性胆道閉鎖症：	
1か月健診で黄疸が強く、便が白い	267

3 胃軸捻転症：	
乳児期に吐きやすい	268
4 胃食道逆流症：	
乳児期に吐きやすい	268
5 鼠径ヘルニア	270
6 腸重積症	270
7 乳児下痢症：	
嘔吐と下痢をきたす	274
8 急性虫垂炎：	
右下腹部痛をきたす	274
9 胃潰瘍と <i>Helicobacter pylori</i> ：	
上腹部痛をきたす	277
10 潰瘍性大腸炎：	
学童で血便と腹痛をきたす	280
11 Crohn 病：	
下痢と繰り返す腹痛がみられる	282
12 過敏性腸症候群：	
ストレスによる下痢がみられる	286
13 その他	286
a 便秘	286
b 門脈圧亢進症	287
c 急性膵炎	287
d 先天性胆道拡張症	290
e 新生児肝炎	291
f Peutz - Jeghers 症候群	291

## 第 5 章 緊急を要する病態・疾患

293

5-1 日本の小児の死亡原因	295	b ヘビ咬傷	301
5-2 誤飲，中毒	296	6 薬剤アナフィラキシー	301
1 たばことマッチ	296	5-3 乳幼児突然死症候群	303
a たばこ	296	5-4 来院時心肺停止状態	305
b マッチ	297	5-5 溺 水	307
2 胃洗浄禁忌の誤飲	297	5-6 小児熱傷	309
a 灯油，石油，ガソリン	297	5-7 外 傷	312
b 強アルカリ性物質，強酸性物質	297	1 トリアージ：	
c 接着剤	298	小児外傷の初期判断	312
3 水 銀	298	2 小児頭部外傷の特徴	312
4 中 毒	298	3 小児特有の外傷	313
a 有機リン中毒	298	a 鈍い外傷	313
b サリン中毒	299	b 拡大性頭蓋骨骨折	313
c ヒ素中毒	299	c 急性硬膜下血腫	314
d シアン中毒（青酸カリ）	300	d 慢性硬膜下液体貯留	314
e トルエン中毒（シンナー）	300	5-8 感染毒素による疾患	321
f テオフィリン中毒	300	1 破傷風	321
5 ハチとヘビ	300	2 ボツリヌス中毒	322
a ハチ刺症	300	5-9 疼 痛	324

6-1 子どもの成長・発達 .....	329	5 先天性筋性斜頸 .....	351
1 バイタルサイン .....	329	6 骨髄炎 .....	353
2 身体および運動発達 .....	330	7 肘内障 .....	354
6-2 母子手帳 .....	343	8 特発性側弯症 .....	355
6-3 その他 .....	348	9 尿検査における異常 .....	355
1 脳性麻痺 .....	348	10 鉄欠乏性貧血： 顔色が優れない .....	357
2 膝蓋腱反射 .....	349	11 片頭痛 .....	358
3 筋緊張低下児 .....	351	6-4 子どもの健康 .....	362
4 先天性股関節脱臼 .....	351		

7-1 心の発達 .....	369	2 社会恐怖症 .....	401
7-2 感情障害 .....	370	3 選択性緘黙 .....	401
1 うつ病 .....	370	4 登校拒否 .....	405
2 情緒障害 .....	370	5 過換気症候群 .....	405
3 躁うつ病（双極性障害）.....	370	6 全般性不安障害 .....	407
7-3 広汎性発達障害 .....	372	7 強迫性障害 .....	407
1 自閉性障害（自閉症）.....	372	8 恐怖症 .....	408
2 Asperger 症候群 .....	374	7-14 心的外傷後ストレス障害 .....	410
3 小児期崩壊性障害 .....	376	7-15 被虐待児症候群 .....	412
4 Rett 症候群 .....	376	7-16 行為障害 .....	416
7-4 統合失調症 .....	378	7-17 その他 .....	419
7-5 精神発達遅滞 .....	379	1 遺糞症 .....	419
7-6 神経発達と能力の評価 .....	380	2 睡眠障害 .....	419
7-7 心身症 .....	384	3 歯ぎしり .....	419
1 身体表現性障害 .....	384	4 指しゃぶり .....	419
2 心気症 .....	387	5 子育て .....	419
3 詐病，虚偽性障害 .....	387	6 別 離 .....	419
7-8 自殺，自殺企図 .....	389	7 家庭内暴力 .....	420
7-9 神経性食思 欲 不振症 .....	390	8 心理社会的原因による成長障害 .....	420
7-10 注意欠陥多動性障害 .....	392	9 保護者による Münchhausen 症候群 .....	420
7-11 夜尿症 .....	398	10 破壊的行動障害 .....	421
7-12 チック障害 .....	399	11 息止め発作 .....	421
7-13 不安障害 .....	401	12 反抗やかんしゃく .....	421
1 分離不安障害 .....	401	13 ウソつき .....	421

14 窃 盗 .....	421	16 放 火 .....	422
15 家 出 .....	422	17 攻 擊 的 性 格 .....	422
欧文索引 .....			423
和文索引 .....			428